

## まちのわだい

あなたのまわりで起きた出来事や  
楽しい話題、イベントなどの身近な  
情報をお待ちしています。

▷問い合わせ 広報情報係  
(☎223局3569)



### 満開の桜のもとで結婚の記念撮影

4月1日 あしや体験隊・和装フォトウェディング

コロナ禍の影響で結婚式を中止・延期した夫婦のために、袴はかま、白無垢姿しろむくの夫婦の記念撮影をする「芦屋町の花嫁」を鶴田栄さん（中間市）が発案し芦屋町観光協会が募集したところ、浜崎梨沙子さん夫婦が応募。「今年の1月に婚姻届けを出したが、新型コロナの影響で結婚式を挙げられなかった。生まれ育った町の桜が咲く芦屋釜の里で、プロカメラマンに撮影してもらってとても良い記念になった」とうれしそうに話していました。



イベント体験



### 四つ葉!五つ葉!六つ葉のクローバー見つけたよ!

3月15日 山鹿の散歩道

自粛生活で運動不足だと気付いた堀川タマエ（山鹿）さんが、運動不足解消のため散歩を始めたとき、シロツメクサの群生に目が行きました。「ひょっとして幸運の四つ葉のクローバーがあるかも」と探したところ、すぐに六つ葉を見つけてびっくりしたそうです。連絡をもらって、現場に行ってみると10分程度で四つ葉を5本、五つ葉を1本見つけたと見せてくれました。思いついたことを行動したら、なにかいいことにつながる予感がしました。



### 3000 万年前の日本の地層に芦屋の名前が

3月28日 中央公民館講座

「3000 万年前の日本は芦屋の時代」というテーマで、北九州市立自然史・歴史博物館名誉館員・理学博士の岡崎美彦さんの講演がありました。3000 万年前、インドがユーラシア大陸に衝突した頃の代表的な地層が、芦屋層群です。「Ashiya」の名称は、地層ばかりでなく、貝類などの化石研究で国際的に使われているそうです。また、アシヤガイやアシヤガマという名の貝も現存しているそうで、講師が採集した貝殻を見せてもらいました。





## 芦屋町出身の5人が自衛隊に入隊

3月23日 芦屋町自衛隊入隊予定者激励

例年、中間・遠賀地区自衛隊入隊予定者激励会で自衛隊入隊予定者の激励を行っていましたが、令和3年度入隊予定者への激励は、コロナ禍の影響で役場で行われました。陸上自衛隊に入隊する富田仁さん（西浜町）、航空自衛隊に入隊する梶原陵雅さん（祇園町）、牧村将汰さん（白浜町）、宮原洸志郎さん（山鹿）、水野摩那人さん（高浜町）の5人のうち、4人は芦屋中学校の同級生だそうです。波多野町長は「初心を忘れず、日々まい進してください」と激励のあいさつを述べました。

## 貝殻入りのかわいいキーホルダーを作ったよ

3月20日 ギャラリーあしやワークショップ

かわいい色とりどりのビーズやリボン、芦屋の海岸で集めた貝殻などをキャンディーの個包装のように透明の袋に包み、キーホルダーにする「親子でキャンディーラッピングキーホルダー講座」が行われました。参加した守田はるのさん（大字芦屋）は「かばんに飾ってみんなにみてもらおう」と話していました。出来上がったキーホルダーは涼しげでこれからの季節に活躍しそうです。



## 町が誇る画家 田中繁吉の軌跡を見聞

3月21日 芦屋歴史の里 ギャラリートーク

明治時代、山鹿で生まれ育った田中繁吉さんの企画展「田中繁吉 家族の肖像展」が芦屋歴史の里で開催中です。田中繁吉さんは18歳まで芦屋で過ごし、東京の大学を卒業したのち、さらにパリで絵画を学んだ画家です。その人生の軌跡と併せて当時に描かれた絵などを見ながら、学芸員の山田克樹さんのギャラリートークがあり、参加者からは「当時の社会情勢を考えると、田中繁吉さんの意識や技術の高さを感じます」との声がありました。

## 役場に花あふれる6週間 No Flower No Life

3月23日 花あふれるふくおかプロジェクト

花あふれるふくおか推進協議会支援事業で、新型コロナウイルスの影響を受け、需要が低迷した福岡県産の花などの消費促進のため、公共施設などに花を贈る活動が行われました。芦屋町役場にも6週にわたり、豊かな香りのフリージアやかわいらしいミモザ、手のひらに入りきらないほど大輪のダリアなどを届けてもらいました。

